

平成30年度 天理市政アンケート 調査報告書

平成 31 年 3 月

天理市

目 次

アンケート調査の概要	1
(1)調査の目的	
(2)調査方法	
(3)回収結果	
(4)報告書の注意点	
(5)施策体系と質問項目の関係	
調査結果	2
1. 住みやすさ意識	2
2. 満足度	3
3. 重要度	4
4. 満足度・重要度一覧	5
5. 分野別にみる重点施策	6
6. 施策指標値の分析	10
7. 環境意識について	14
8. 『天理駅前広場コフフン』について	15
自由意見	17
巻末資料	29
1. 回答者の属性	
2. 市政アンケート調査票	

アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、本市のまちづくりを進めるにあたって、幅広く市民の意向やニーズを把握し、今後のまちづくりの方向性検討の基礎資料として活用することを目的とするものです。

(2) 調査方法

1. 調査対象

平成30年8月1日現在で天理市内に在住する18歳以上の人3,000人
(住民基本台帳および外国人登録データから無作為抽出)

2. 実施方法

郵送による調査票の配布・回収

3. 調査期間

平成30年9月3日（月）～平成30年9月18日（火）

(3) 回収結果

対象者	有効回答数	回収率
3,000 人	922 人	30.7%

(4) 報告書の注意点

- ・百分率（％）は小数第2位を四捨五入して表示しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。複数回答の構成比率の合計は100%になりません。
- ・一部の人を対象とする質問では、対象者数を分母にして比率を算出しています。
- ・二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

(5) 施策体系と質問項目の関係

本調査の満足度、重要度の項目は、「天理市第5次総合計画（平成22～31年度）」の施策を基本としており、施策ごとに重要度と満足度を質問しています。

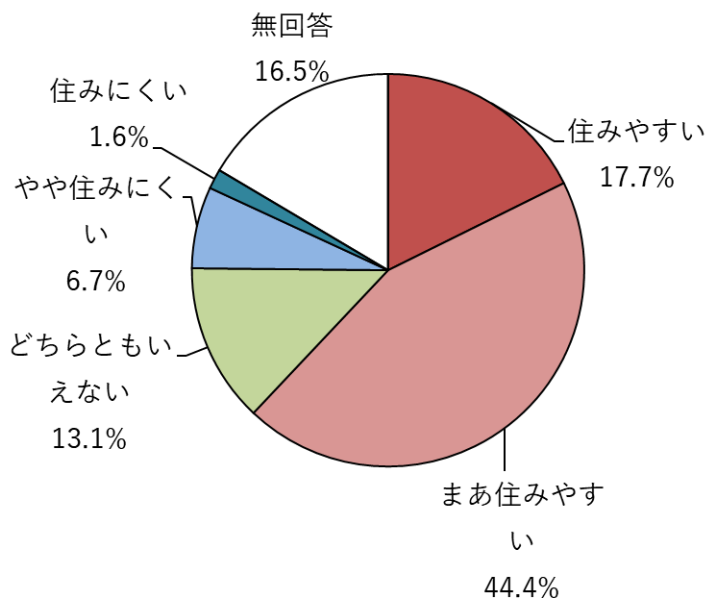
一つの質問が複数の施策に関係しているものや、1つの施策に複数の質問がある場合があります。質問項目は、市政を行ううえで、より市民のみなさんの意見を反映しなければならない施策に限定して選んでいます。

調査結果

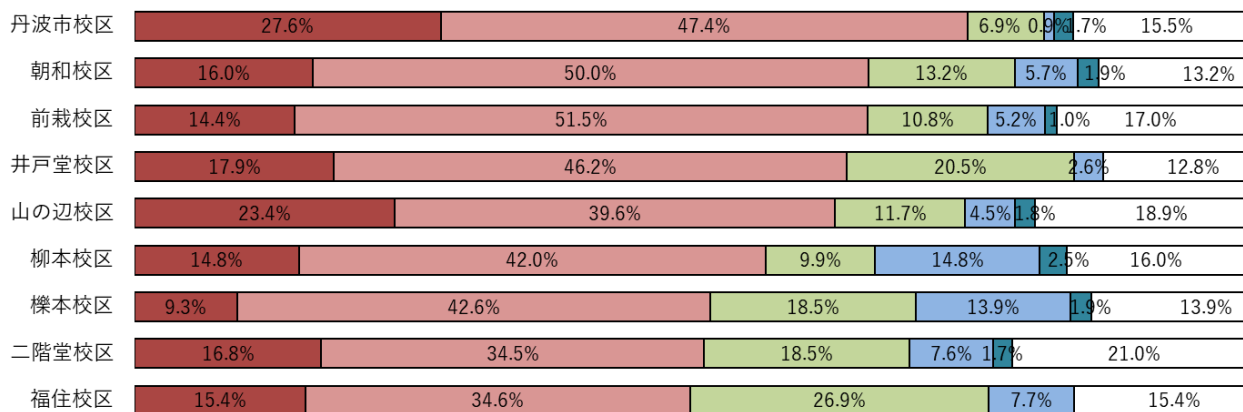
1. 住みやすさ意識

天理市の住みやすさについてどう思いますか。

「住みやすい」「まあ住みやすい」と回答した人を合わせると、62.1%の人が天理市を住みやすいと感じています。



地域別にみると、「住みやすい」「まあ住みやすい」と答えた人の割合が多い地域は、丹波市校区（75.0%）、朝和校区（66.0%）の順で、最も高い丹波市校区は最も低い福住校区（50.0%）と比べると、15.0%値が高くなっています。また、「住みにくい」「やや住みにくい」と答えた人が多かった地域は、柳本校区（17.3%）で、次に櫛本校区（15.8%）でした。

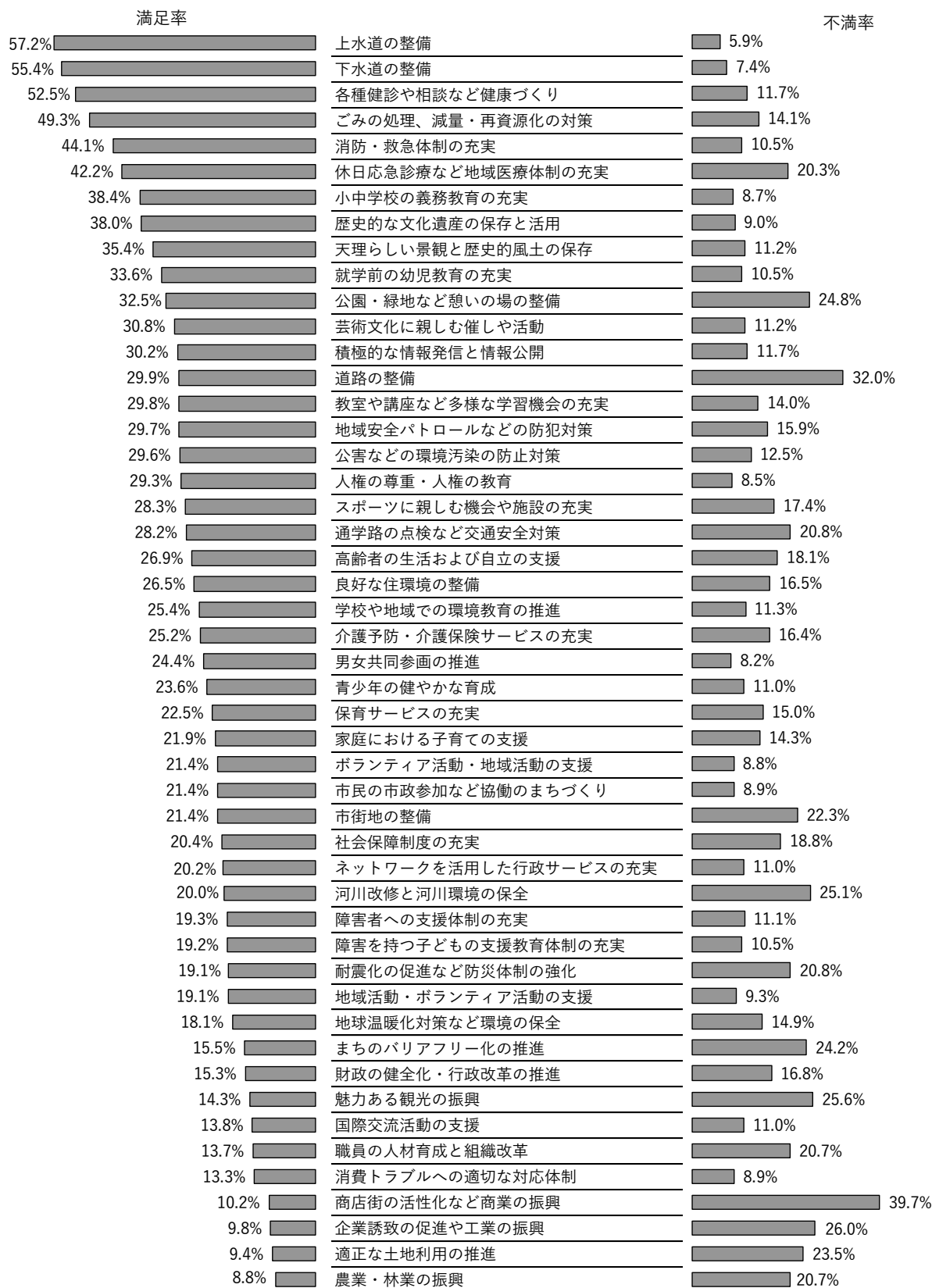


■ 住みやすい ■ まあ住みやすい ■ どちらともいえない ■ やや住みにくい ■ 住みにくい □ 無回答

2. 満足度 *****

次の天理市の取組について、どの程度満足していますか。

市が取り組んでいるそれぞれの施策に対して、市民の満足度を調査しました。満足率は回答者のうち「満足している」「まあ満足している」と回答した人の割合、不満率は「やや不満である」「不満である」と回答した人の割合です。



満足率は、上位5施策は前回と同じ項目で、「上水道の整備」「下水道の整備」「各種健診や相談など健康づくり」「ごみの処理、減量・再資源化の対策」「消防・救急体制の充実」の順となりました。上位3施策については、5割以上の方が満足と感じています。

不満率は、上位4施策は前回と同じ項目になっていますが、「河川改修と河川環境の保全」が前回の10位から5位になりました。

3. 重要度 *****

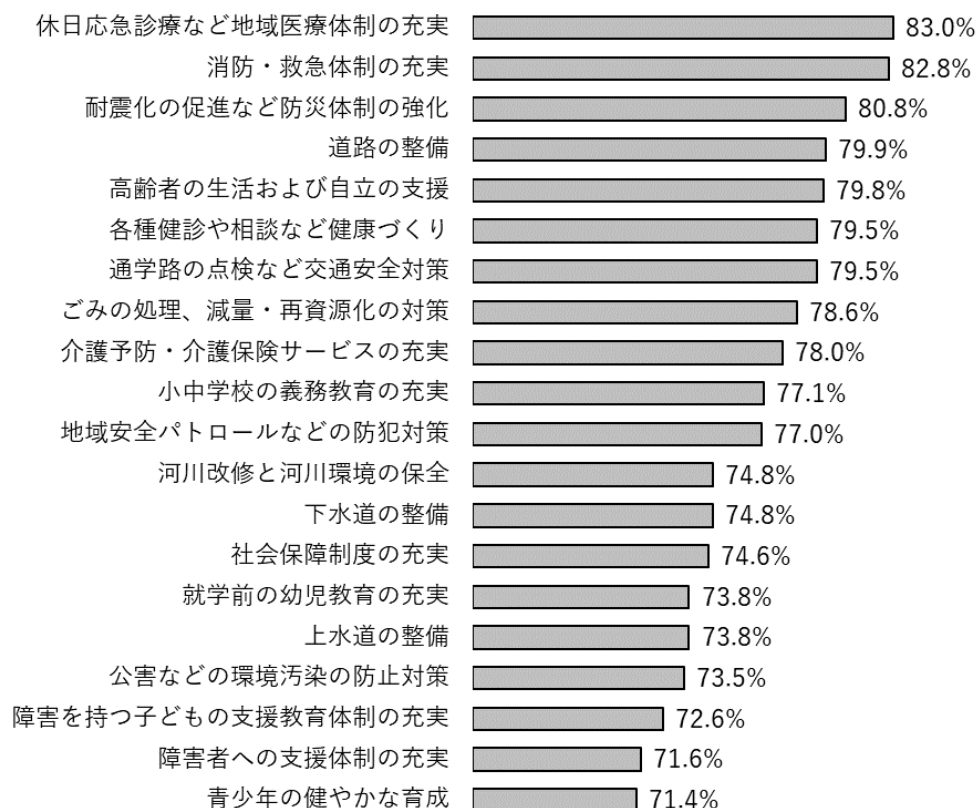
次の天理市の取組について、今後、積極的・重点的に取り組むべき重要な施策だと思いますか

市が取り組んでいるそれぞれの施策に対して、これから先取り組むべき重要な施策であると考えているかをお聞きしました。

重要度は、「重要」「どちらかといえば重要」と答えた人の全回答者数に対する割合で、何%の人がその施策について今後重要であると答えているかを示しています。

重要度が最も高かった施策は6年連続で「地域医療体制の充実」(83.0%)でした。続いて「消防・救急体制の充実」(82.8%)、「耐震化の促進など防災体制の強化」(80.8%)となりました。けがや病気等に備えた対策が長年重要視されているという事が考えられます。また、防災に対する意識も高くなってきています。

重要度の高い20施策



4. 満足度・重要度一覧

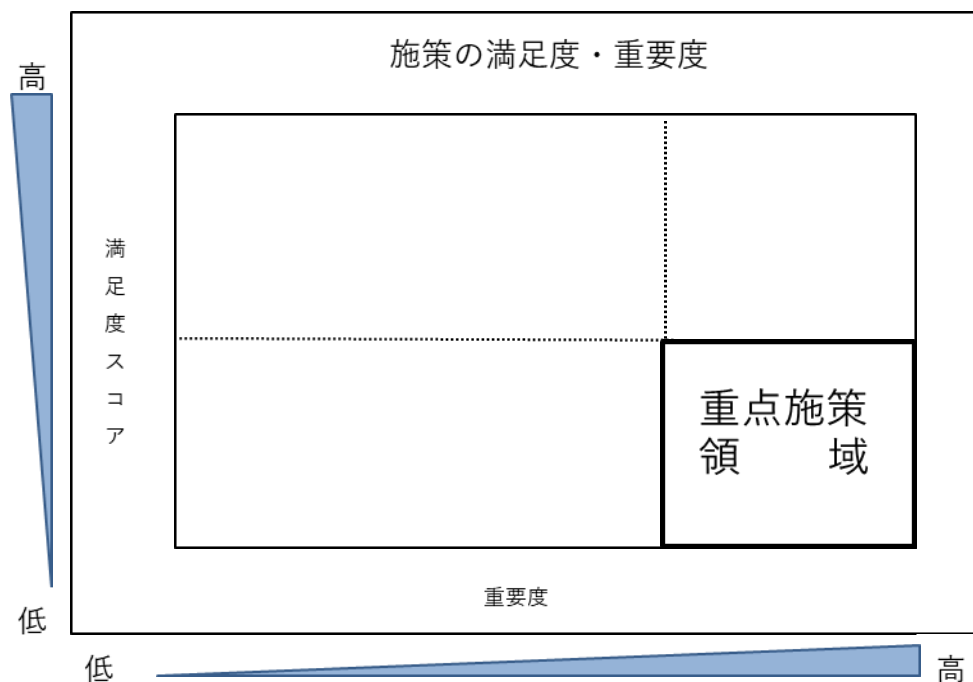
施 策	満足率 (A)	不満率 (B)	満足度スコア		重 要 度	
			(A) - (B)	順位		順位
就学前の幼児教育の充実	33.6%	10.5%	23.1%	9	73.8%	15
小中学校の義務教育の充実	38.4%	8.7%	29.7%	6	77.1%	10
障害を持つ子どもの支援教育体制の充実	19.2%	10.5%	8.7%	28	72.6%	18
青少年の健やかな育成	23.6%	11.0%	12.7%	19	71.4%	20
人権の尊重・人権の教育	29.3%	8.5%	20.8%	11	65.5%	30
男女共同参画の推進	24.4%	8.2%	16.2%	15	57.7%	42
教室や講座など多様な学習機会の充実	29.8%	14.0%	15.8%	16	60.5%	39
スポーツに親しむ機会や施設の充実	28.3%	17.4%	11.0%	22	62.0%	36
学校や地域での環境教育の推進	25.4%	11.3%	14.1%	17	65.3%	31
芸術文化に親しむ催しや活動	30.8%	11.2%	19.6%	12	54.7%	46
歴史的な文化遺産の保存と活用	38.0%	9.0%	29.0%	7	62.8%	35
各種健診や相談など健康づくり	52.5%	11.7%	40.8%	3	79.5%	6
休日応急診療など地域医療体制の充実	42.2%	20.3%	21.9%	10	83.0%	1
高齢者の生活および自立の支援	26.9%	18.1%	8.8%	27	79.8%	5
介護予防・介護保険サービスの充実	25.2%	16.4%	8.8%	26	78.0%	9
障害者への支援体制の充実	19.3%	11.1%	8.2%	29	71.6%	19
家庭における子育ての支援	21.9%	14.3%	7.6%	31	71.4%	20
保育サービスの充実	22.5%	15.0%	7.5%	32	71.1%	23
ボランティア活動・地域活動の支援	21.4%	8.8%	12.6%	20	61.9%	37
社会保障制度の充実	20.4%	18.8%	1.6%	37	74.6%	14
企業誘致の促進や工業の振興	9.8%	26.0%	-16.3%	48	60.0%	40
商店街の活性化など商業の振興	10.2%	39.7%	-29.5%	49	68.5%	26
農業・林業の振興	8.8%	20.7%	-11.9%	46	57.2%	43
魅力ある観光の振興	14.3%	25.6%	-11.3%	45	61.5%	38
国際交流活動の支援	13.8%	11.0%	2.8%	36	49.1%	49
ごみの処理、減量・再資源化の対策	49.3%	14.1%	35.2%	4	78.6%	8
公害などの環境汚染の防止対策	29.6%	12.5%	17.1%	14	73.5%	17
地球温暖化対策など環境の保全	18.1%	14.9%	3.3%	35	71.4%	20
公園・緑地など憩いの場の整備	32.5%	24.8%	7.7%	30	71.1%	23
河川改修と河川環境の保全	20.0%	25.1%	-5.1%	42	74.8%	12
耐震化の促進など防災体制の強化	19.1%	20.8%	-1.7%	40	80.8%	3
消防・救急体制の充実	44.1%	10.5%	33.6%	5	82.8%	2
通学路の点検など交通安全対策	28.2%	20.8%	7.4%	33	79.5%	6
地域安全パトロールなどの防犯対策	29.7%	15.9%	13.8%	18	77.0%	11
消費トラブルへの適切な対応体制	13.3%	8.9%	4.4%	34	52.6%	48
適正な土地利用の推進	9.4%	23.5%	-14.1%	47	59.2%	41
市街地の整備	21.4%	22.3%	-1.0%	38	64.6%	32
まちのバリアフリー化の推進	15.5%	24.2%	-8.7%	44	68.4%	27
天理らしい景観と歴史的風土の保存	35.4%	11.2%	24.2%	8	63.3%	34
良好な住環境の整備	26.5%	16.5%	10.0%	23	71.0%	25
上水道の整備	57.2%	5.9%	51.3%	1	73.8%	15
下水道の整備	55.4%	7.4%	48.0%	2	74.8%	12
道路の整備	29.9%	32.0%	-2.1%	41	79.9%	4
積極的な情報発信と情報公開	30.2%	11.7%	18.4%	13	63.6%	33
市民の市政参加など協働のまちづくり	21.4%	8.9%	12.5%	21	54.7%	46
ネットワークを活用した行政サービスの充実	20.2%	11.0%	9.2%	25	56.9%	44
地域活動・ボランティア活動の支援	19.1%	9.3%	9.8%	24	56.1%	45
財政の健全化・行政改革の推進	15.3%	16.8%	-1.5%	39	66.3%	28
職員の人材育成と組織改革	13.7%	20.7%	-7.0%	43	65.8%	29

5. 分野別にみる重点施策

調査結果をもとに、満足度と重要度から市が取り組んでいる6分野49施策について、今後、重点的に取り組むべき施策を分析しました。満足度については、満足度スコアを用いています。

《施策の分布図》

満足度スコアを縦軸に、重要度を横軸にとり、各項目の数値を点で示しています。重要度が全体平均より高く、満足度スコアが全体平均より低い領域（太線囲み部分）にある施策は、市民がまちづくりにとって重要だと感じているにもかかわらず、満足していない傾向にあり、今後、優先的に取り組むべき『重点施策』としました。



《分野別にみる重点施策》

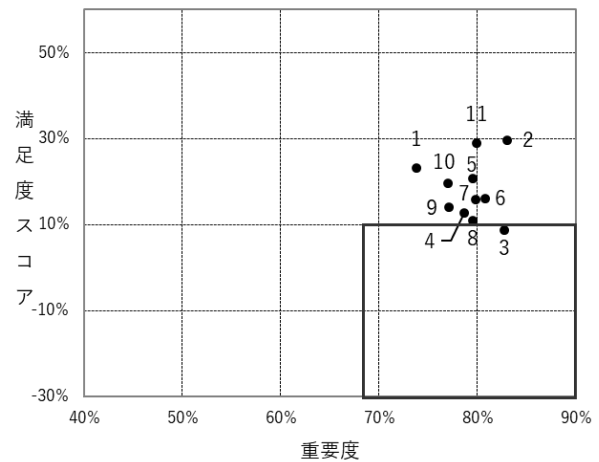
6分野別に「重点施策」について分析しました。基準になる平均値より満足度スコアが低く、重要度が高い領域にある施策が「重点施策」となります。

【平均値】 満足度スコア：10.6% 重要度：68.4%

1) 文化に触れ心豊かにたくましく生きるまち

「障害を持つ子どもの支援教育体制の充実」における施策が重点施策となっており、他の施策と比較して満足度が低くなっています。

施 策	満足度 スコア	重要度
1 就学前の幼児教育の充実	23.1%	73.8%
2 小中学校の義務教育の充実	29.7%	83.0%
3 障害を持つ子どもの支援教育体制の充実	8.7%	82.8%
4 青少年の健やかな育成	12.7%	78.6%
5 人権の尊重・人権の教育	20.8%	79.5%
6 男女共同参画の推進	16.2%	80.8%
7 教室や講座など多様な学習機会の充実	15.8%	79.8%
8 スポーツに親しむ機会や施設の充実	11.0%	79.5%
9 学校や地域での環境教育の推進	14.1%	77.1%
10 芸術文化に親しむ催しや活動	19.6%	77.0%
11 歴史的な文化遺産の保存と活用	29.0%	79.9%

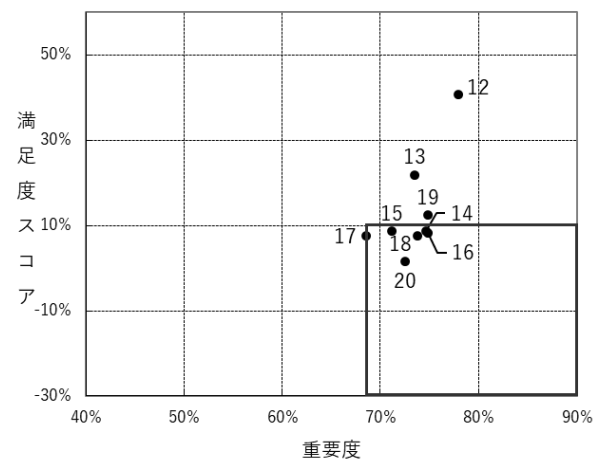


2) 生涯いきいき暮らせるまち

「高齢者の生活および自立の支援」「介護予防・介護保険サービスの充実」「障害者への支援体制の充実」「家庭における子育ての支援」「保育サービスの充実」「社会保障制度の充実」の6施策が重点施策となっています。

高齢者及び障害者並びに家庭での子育てに対する支援への満足度が低く、特に社会保障の充実については平均を大きく下回っていることがわかります。

施 策	満足度 スコア	重要度
12 各種健診や相談など健康づくり	40.8%	78.0%
13 休日応急診療など地域医療体制の充実	21.9%	73.5%
14 高齢者の生活および自立の支援	8.8%	74.6%
15 介護予防・介護保険サービスの充実	8.8%	71.1%
16 障害者への支援体制の充実	8.2%	74.8%
17 家庭における子育ての支援	7.6%	68.5%
18 保育サービスの充実	7.5%	73.8%
19 ボランティア活動・地域活動の支援	12.6%	74.8%
20 社会保障制度の充実	1.6%	72.6%

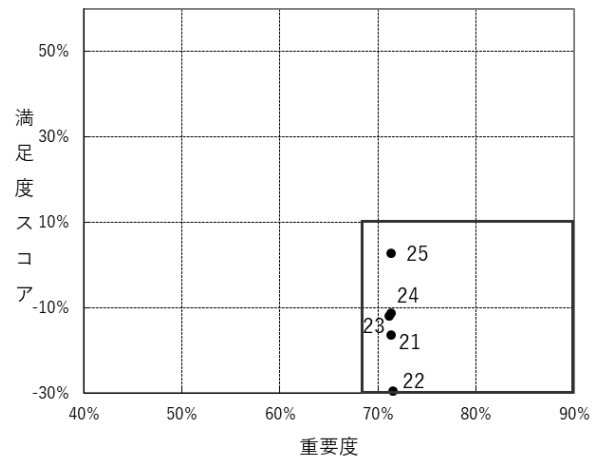


3) にぎわいと活力のあるまち

全施策の重要度が平均値より高くなっている一方、満足度は平均値より非常に低くなっていることから、これらの施策が今後優先的に取り組むべき重点施策です。

自由意見においても、商工業・まちの活性化に関する意見が多数あり、市民の関心も高いことがわかります。

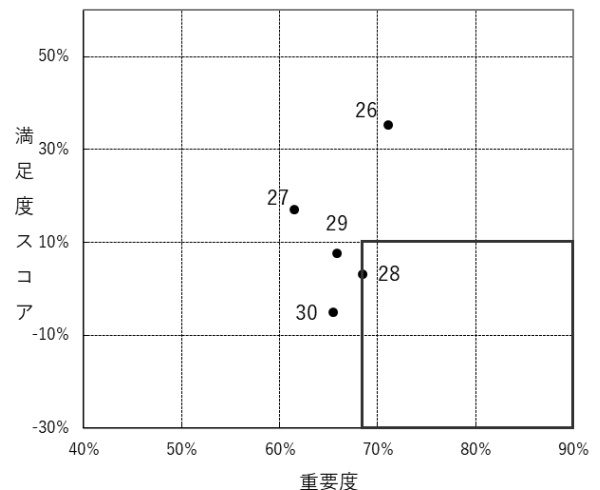
施 策	満足度 スコア	重要度
21 企業誘致の促進や工業の振興	-16.3%	71.4%
22 商店街の活性化など商業の振興	-29.5%	71.6%
23 農業・林業の振興	-11.9%	71.1%
24 魅力ある観光の振興	-11.3%	71.4%
25 国際交流活動の支援	2.8%	71.4%



4) 環境を大切にしていこまち

「地球温暖化対策など環境の保全」が重点施策となっています。「ごみの処理、減量・再資源化の対策」は満足度、重要度ともに平均より高くなっています。

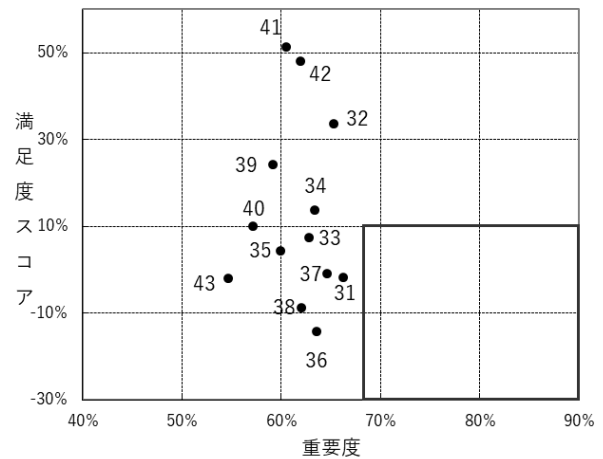
施 策	満足度 スコア	重要度
26 ごみの処理、減量・再資源化の対策	35.2%	71.0%
27 公害などの環境汚染の防止対策	17.1%	61.5%
28 地球温暖化対策など環境の保全	3.3%	68.4%
29 公園・緑地など憩いの場の整備	7.7%	65.8%
30 河川改修と河川環境の保全	-5.1%	65.5%



5) 安全で快適なまち

全施策の重要度が平均値より低くなったため、重点施策となるものではありませんでした。「上水道の整備」「下水道の整備」については満足度が高くなっていますが、「適正な土地利用の推進」「バリアフリー化」「道路の整備」「防災体制の強化」「市街地の整備」については、不満に感じている人が多い状況となっています。

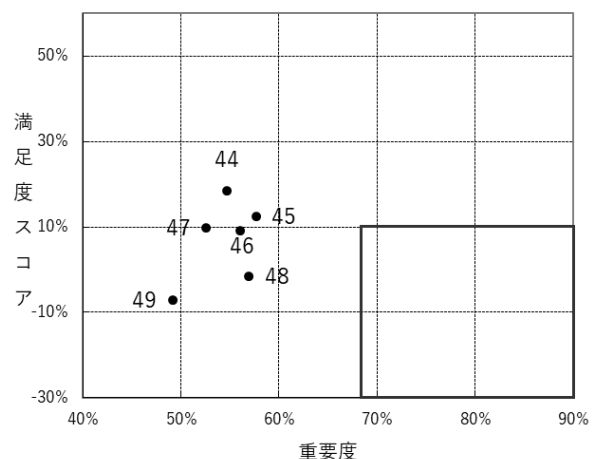
施 策	満足度 スコア	重要度
31 耐震化の促進など防災体制の強化	-1.7%	66.3%
32 消防・救急体制の充実	33.6%	65.3%
33 通学路の点検など交通安全対策	7.4%	62.8%
34 地域安全パトロールなどの防犯対策	13.8%	63.3%
35 消費トラブルへの適切な対応体制	4.4%	60.0%
36 適正な土地利用の推進	-14.1%	63.6%
37 市街地の整備	-1.0%	64.6%
38 まちのバリアフリー化の推進	-8.7%	62.0%
39 天理らしい景観と歴史的風土の保存	24.2%	59.2%
40 良好な住環境の整備	10.0%	57.2%
41 上水道の整備	51.3%	60.5%
42 下水道の整備	48.0%	61.9%
43 道路の整備	-2.1%	54.7%



6) みんなでつくる開かれたまち

全施策の重要度が平均値より低くなったため、重要施策となるものではありませんでしたが、「財政の健全化・行政改革の推進」「職員の人材育成と組織改革」の2項目については、満足度がマイナスとなっています。

施 策	満足度 スコア	重要度
44 積極的な情報発信と情報公開	18.4%	54.7%
45 市民の市政参加など協働のまちづくり	12.5%	57.7%
46 ネットワークを活用した行政サービスの充実	9.2%	56.1%
47 地域活動・ボランティア活動の支援	9.8%	52.6%
48 財政の健全化・行政改革の推進	-1.5%	56.9%
49 職員の人材育成と組織改革	-7.0%	49.1%



6. 施策指標値の分析 *****

提供している行政サービスが本来必要とされているものなのか、また効果が出ているものなのかを把握するために、各施策の達成度を測る「整備率」など行政サービスの供給量を表す視点だけではなく、「市民がどう感じているのか」といった視点が重要となります。

そこで「市民の感じ方」や「市民の行動の有無や頻度」などについて調査しました。質問項目は、第5次総合計画の施策の進捗を測るためにふさわしいと思われる内容を選びました。

指標値は、問2（市の取組について）・問3（環境について）で「満足している」「まあ満足している」と回答した人の割合、問4（情報公開、行政等に関して）で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合、問5～問8（文化活動や防災等について）で「はい」と回答した人の割合を示しています。

※指標値を前年度と比較

→「± < 1%」 ↗↘「± < 3%」 ↗↘「± ≥ 3%」

1) 文化に触れ心豊かにたくましく生きるまち

節（政策）	施策	指標名	前年度 指標値	指標値	比較
心豊かでたくましい児童・青少年の育成	就学前教育の充実	幼児教育が充実していると感じている市民の割合	32.7%	33.6%	→
	義務教育の充実	義務教育が充実していると感じている市民の割合	38.5%	38.4%	→
	特別支援教育の充実	特別支援教育体制が充実していると感じている市民の割合	20.8%	19.2%	↘
	青少年の健全育成	青少年が健全に育成されていると感じている市民の割合	25.0%	23.6%	↘
誰もが尊重される地域社会の実現	人権教育の推進	人権の尊重・人権教育の推進がされていると感じている割合	30.8%	29.3%	↘
	男女共同参画社会の推進	男女共同参画が推進されていると感じている市民の割合	22.9%	24.4%	↗
市民が主体的に参画する生涯学習社会の形成	生涯学習の充実	多様な学習機会が充実していると感じている市民の割合	30.2%	29.8%	→
	スポーツ・レクリエーションの振興	スポーツをする機会や場所が充実していると思う市民の割合	30.0%	28.3%	↘
	環境教育の推進	学校や地域での環境教育の推進が図られていると思う市民の割合	26.2%	25.4%	→
	市民文化活動の振興	芸術文化に親しむ催しや活動が推進されていると感じている市民の割合	33.5%	30.8%	↘
	文化財の保護と活用	文化遺産の保存と活用に満足していると感じている市民の割合	38.8%	38.0%	→

2) 生涯いきいき暮らせるまち

節（政策）	施 策	指標名	前年度 指標値	指標値	比較
健康でいきいき暮らせる 環境づくり	健康づくり環境の整備	各種健診や相談など健康づくりの推進に 満足している市民の割合	51.1%	52.5%	
	保健活動・疾病予防の促進	長期的な病気や障害を抱えていると感じ ている市民の割合	32.5%	35.5%	
	地域医療体制の充実	安心して医療を受けることができると感 じている市民の割合	57.2%	62.5%	
高齢者がいきいき暮らせ る環境づくり	高齢者支援体制の充実	高齢になったときも安心して生活できる 答えた市民の割合	30.1%	32.0%	
	高齢者の生きがい対策の推 進	高齢者の生活および自立の支援に満足し ている市民の割合	27.0%	26.9%	
	介護予防の推進	介護予防・介護保険サービスの充実に満 足している市民の割合	26.2%	25.2%	
	介護保険サービスの充実				
障害者がいきいき暮らせ る環境づくり	障害者支援体制の充実	障害者への支援に満足している市民の割 合	18.9%	19.3%	
	障害者の社会参加の促進				
子どもを安心して育てら れる環境づくり	家庭における子育ての支援	家庭における子育て支援に満足している 市民の割合	21.5%	21.9%	
	保育サービスの充実	保育サービスの充実に満足している市民 の割合	22.3%	22.5%	
自立を支援する地域福祉 の充実	地域福祉活動の推進	ボランティア活動・地域活動の支援に満 足している市民の割合	21.8%	21.4%	
	自立を支える社会保障の推 進	社会保障制度が充実していると感じて いる市民の割合	19.8%	20.4%	

3) にぎわいと活力あるまち

節（政策）	施 策	指標名	前年度 指標値	指標値	比較
にぎわいと活力を創る産 業の振興	活力ある工業の振興	企業誘致の促進や工業の振興に満足して いる市民の割合	9.8%	9.8%	
	魅力ある商業・サービス業 の振興	商店街への活性化など、商業振興に満足 している市民の割合	11.1%	10.2%	
	農林業の振興	農林業振興に満足している市民の割合	10.2%	8.8%	
豊かな地域資源を活用す る観光交流の推進	魅力ある観光の振興	魅力ある観光の振興に満足している市民 の割合	17.0%	14.3%	
	国際交流の推進	国際交流活動を支援されていると感じて いる市民の割合	15.3%	13.8%	

4) 環境を大切にしていまち

節（政策）	施 策	指標名	前年度 指標値	指標値	比較
環境保全と環境への負荷抑制	ごみの減量化とリサイクルの推進	ごみの処理、減量・再資源化の対策に満足している市民の割合	47.7%	49.3%	
	廃棄物の適正な処理と再資源化				
	環境への負荷抑制	公害等の環境汚染の防止対策に満足している市民の割合	29.6%	29.6%	
	環境保全活動の推進	地球温暖化対策など環境保全が推進されていると感じている市民の割合	19.9%	18.1%	
豊かな自然環境の実現	緑豊かな憩の場の整備	公園・緑地など憩の場の整備に満足している市民の割合	31.0%	32.5%	
	河川環境の整備	河川改修の推進と河川環境の保全に満足している市民の割合	20.3%	20.0%	

5) 安全で快適なまち

節（政策）	施 策	指標名	前年度 指標値	指標値	比較
安全・安心な体制づくりの推進	地域防災体制の確立	日頃から防災対策を行っている市民の割合	29.9%	35.0%	
	災害に強いまちづくりの推進	災害時の緊急避難場所を知っている市民の割合	68.9%	76.8%	
	消防・救急対策の充実	消防・救急体制の充実に満足している市民の割合	44.1%	44.1%	
安全な生活環境の整備	交通安全対策の推進	交通安全対策の推進に満足している市民の割合	31.9%	28.2%	
	地域防犯体制の充実	地域安全パトロールなどの防犯対策に満足している市民の割合	31.0%	29.7%	
	安全で豊かな消費生活の充実	消費トラブルに適切に対応できていると感じている市民の割合	13.9%	13.3%	
適正な土地利用の推進	計画的な土地利用の推進	適正な土地利用の推進に満足している市民の割合	9.9%	9.4%	
	市街地整備の推進	市街地の整備に満足している市民の割合	20.6%	21.4%	
快適な生活環境の整備	すべての人に配慮したまちづくりの推進	まちのバリアフリー化の推進に満足している市民の割合	16.6%	15.5%	
	都市景観と歴史的環境の保全	天理市らしい景観がつけられていると感じている市民の割合	35.0%	35.4%	
	良好なすまいの提供・住環境の整備	良好な住環境の整備に満足している市民の割合	28.4%	26.5%	
	上水道の整備	上水道の整備について満足と感じている人の割合	54.3%	57.2%	
	下水道の整備	下水道の整備について満足と感じている人の割合	53.3%	55.4%	
	総合的な道路・交通体系の整備	道路の整備に満足している市民の割合	30.8%	29.9%	

6) みんなでつくる開かれたまち

節（政策）	施 策	指標名	前年度 指標値	指標値	比較
情報の共有化と市民参画 の推進	情報発信の充実と適正な情報公開	広報紙「町から町へ」が役に立つと感じている市民の割合	58.9%	59.9%	
	市民等との協働の推進	広く市政に参加できる機会が保障されていると感じる市民の割合	17.9%	16.7%	
	地域情報化の推進	ネットワークを活用した行政サービスの充実に満足している市民の割合	19.2%	20.2%	
	地域を支える組織・人材の育成	この1年間に何らかのボランティア活動を行ったことがある市民の割合	25.6%	24.4%	
効率的な行政経営の推進	財政健全化の推進	財政健全化の推進に満足している市民の割合	16.4%	15.3%	
	行政経営の推進	市の行政が効率化されていると感じている市民の割合	14.6%	14.1%	
	職員の人材育成	市の窓口における職員対応に満足している市民の割合	44.2%	48.6%	
	組織・機構改革の推進	職員の人材育成と組織改革に満足している市民の割合	15.0%	13.7%	

7. 環境意識について * * * * *

「環境の保全と創造」に向けた取組を推進するにあたり、環境について意識調査をしました。

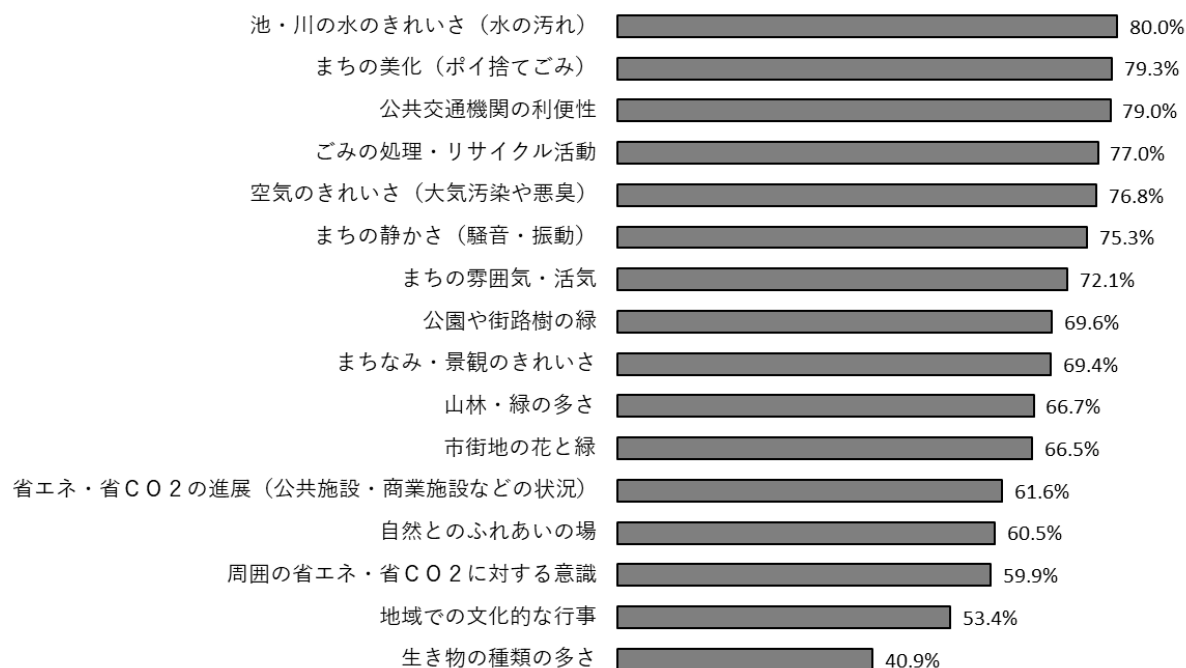
満足度について

天理市の環境について満足度を調査しました。満足率は回答者のうち「満足している」「まあ満足している」と回答した人の割合、不満率は「やや不満である」「不満である」と回答した人の割合です。最も満足率が高かったのは前回と同様「山林・緑の多さ」でした。最も不満率が高かったのは「公共交通機関の利便性」で、上位5施策については前回と同じ項目でした。



今後の重要度について

重要度は、「重要である」「どちらかといえば重要」と答えた人の全回答者数に対する割合です。最も多かった項目は「池・川の水のきれいさ（水の汚れ）」でした。



平成 29 年 4 月にリニューアルオープンした『天理駅前広場コフフン』についてお聞きしました。

約9割の人が「知っている」と回答しました。

Response	Percentage
知っている	90.6%
知らない	8.2%
無回答	1.2%

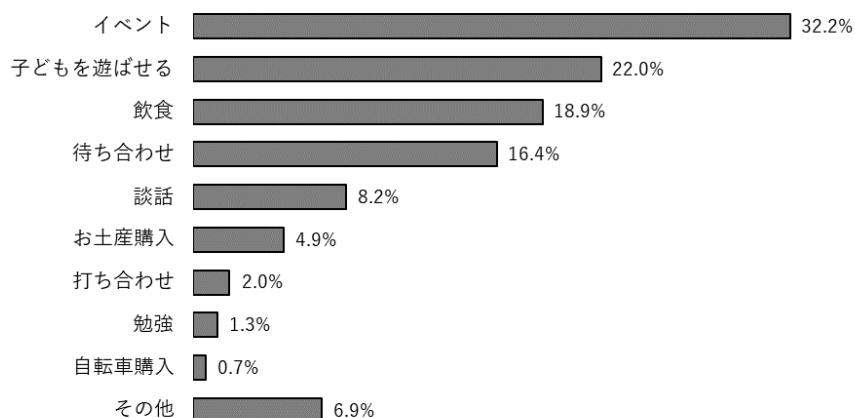
1 回以上訪れたことがあると回答した人を合わせると 59.8%となり、約 6 割の人が訪れたことがあると回答しました。

A pie chart illustrating the frequency of responses for 'Q1: How many times have you used the service?'. The chart is divided into seven segments, each representing a different frequency range. The largest segment is 'ない' (None) at 38.8%, followed by '3～5回' (3-5 times) at 20.8%, and '10回以上' (10 or more times) at 14.2%.

Frequency	Percentage
ない	38.8%
1回	7.2%
2回	10.2%
3～5回	20.8%
6～9回	7.4%
10回以上	14.2%
無回答	1.4%

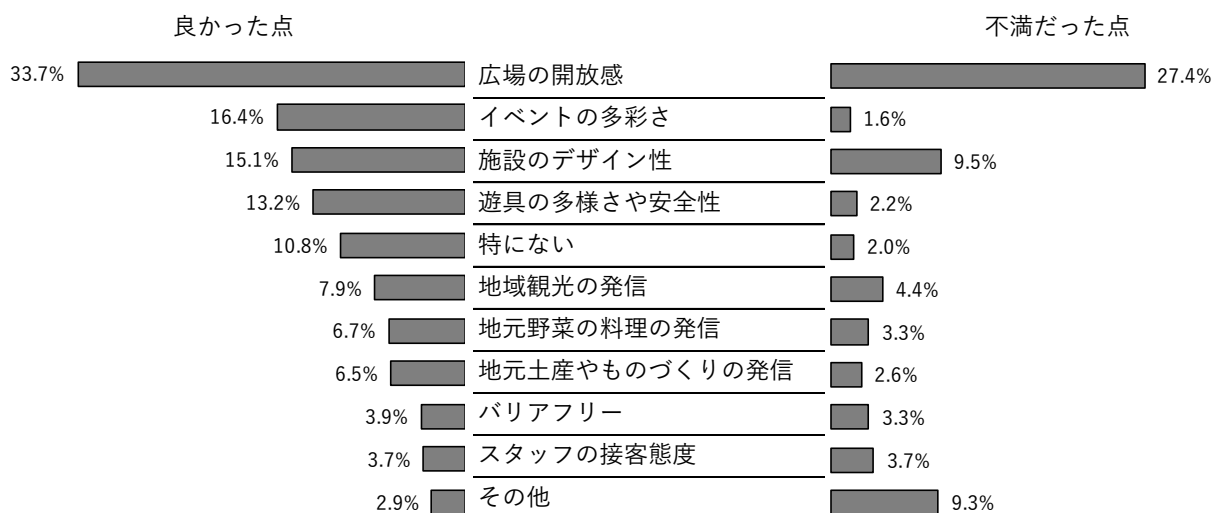
何の目的で訪れましたか。(複数回答)

最も多かった回答は「イベント」で32.2%でした。



良かった点は何ですか。不満だった点は何ですか。(複数回答)

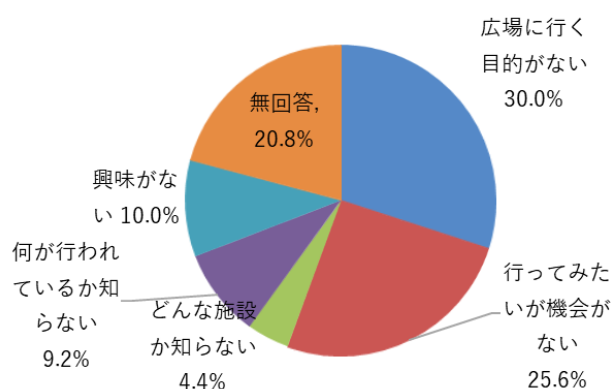
良かった点、不満だった点ともに、最も多かった回答は「広場の開放感」でした。



『天理駅前広場コフフン』を訪れたことがない理由を教えてください。

最も多かった回答は「広場に行く目的がない」で30.0%でした。

回答	人数	構成比
広場に行く目的がない	108人	30.0%
行ってみたいが機会がない	92人	25.6%
どんな施設か知らない	16人	4.4%
何が行われているか知らない	33人	9.2%
興味がない	36人	10.0%
無回答	75人	20.8%
合計	360人	100%



自由意見

市への意見・提案として寄せられた回答の中から、政策体系上の章（分野）・内容別に代表的なものを抜粋して、市の対応方針と共に掲載しています。312 名の方からご意見等をいただき、複数の分野にわたる意見については分割しているため、総件数は 390 件でした。

章（分野）		件数
1 文化に触れ心豊かにたくましく いきるまち	教育	19
	生涯学習・文化・スポーツ	20
	人権	1
2 生涯いきいき暮らせるまち	医療	9
	子育て	26
	福祉・社会保障	8
3 にぎわいと活力のあるまち	農林業	7
	商工業・まちの活性化	15
	観光・イベント	8
4 環境を大切にしていけるまち	ごみ・リサイクル	14
	環境・公害・美化	14
	公園・憩いの場	11
	河川環境整備	13
5 安全で快適なまち	防災	9
	交通安全	17
	防犯	9
	上下水道	4
	公共交通機関等	67
	道路整備・バリアフリー	68
6 みんなでつくる開かれたまち	情報提供・広報	4
	ボランティア	2
	行財政運営	7
	市職員・市民サービス	4
	市議会議員	4
7 その他	まちづくり全般	16
	アンケート	8
	その他	6
合 計		390

1) 文化に触れ心豊かにたくましく生きるまち

教育

■いじめについて、もう少し積極的に取り組んでいただきたい。嫌がらせも何度も続くようでしたら、いじめられている側の親に報告するだけでなく、いじめている側の保護者にも報告するべきだと思います。(櫛本・40代女性)

▶いじめについては、各学校で組織的に対応しています。いじめる側の児童のもつ課題にも配慮しながら、保護者とも連携して取り組んでいます。

■通学路の安全を確保してください。(井戸堂・70代以上男性)

▶通学路の安全確保等について、天理市通学路安全推進会議を開催し、各学校からの要望をひとつひとつ検討しながら、道路管理者や警察等関係機関と連携して対策を講じています。

■小学校は耐震工事、空調設備が進んでいて安心ですが、中学校は進んでいません。子どもたちを安心して通わせられるように早急に整備していただきたいと思います。(朝和・40代女性)

▶近年、猛暑日が増える中、小・中学校での児童・生徒の健康管理や良好な学習環境を整える手段としてエアコンの設置は有効な方法であると認識しており、天理市では今年度に市内8小学校の普通教室にエアコンを設置しました。来年度中には市内小・中学校の全普通教室にエアコン設置を計画しております。また、公立学校の耐震化に伴う工事につきましては、学校ごとに診断等に基づく補強方法や費用対効果などを検討し、年次計画的に進めてきました。北中学校、南中学校の耐震を含む老朽化対策につきましても、改築等に向けて事業を進めているところです。

■小中学校のトイレの整備を急いでいただきたいと思います。子どもが気軽に行きやすい清潔なトイレを各学校の整備重点項目の1番に上げて早急にとりかかっていたいただきたいと思います。(二階堂・60代男性)

▶現在、小・中学校の校舎には、少なくとも各階に1箇所ずつ洋式トイレを設置しており、従来のタイル張りの湿式トイレからシート張りの乾式トイレへの改修も進めています。学校施設の環境の向上や衛生面から、学校のトイレの洋式化と乾式化は進めていかなければならない課題だと認識しており、今後も年次的に改修を計画していきます。

生涯学習・文化・スポーツ

■身近に体を動かせる施設が整備されてほしいです。(前栽・30代男性)

▶市立総合体育館には今年よりボルダリング施設が設置されました。また、体育館2階には昨年4月よりマシンが新しくなったトレーニングジムもあります。両施設ともに好評で非常に人気があります。是非ご活用ください。

■公民館で受けている教室の10年在籍している者は、来年度は申し込めないとききました。もう少し楽しく続けたいと思います。(前栽・70代以上)

▶公民館で主催している文化教室は、平成21年度に教室開催要項で在籍期間を10年と定めました。文化教室は基本的に生涯学習のきっかけづくりとして開催しており、生涯学習として続けられる何かを探す場所と考えております。教室生として卒業となっても、決して生涯学習活

動をやめていただくということではありません。講師料を負担いただき、自主的なクラブ・サークルを作られることで、今までと同様に公民館で生涯学習活動が続けていただくことができます。公民館の利用方法などで不明な点がございましたら、公民館にお問い合わせください。皆様の生涯学習、地域づくりの拠点として公民館を利用いただければ幸いです。ご理解の程よろしくお願いいたします。

■図書館の本が駅前ポストに返却できて助かっています。期間延長がパソコンでできるようになって助かっています。(前栽・70代以上女性)

▶これからも皆様方が利用しやすく、親しんでいただける図書館運営に努めてまいります。

2) 生涯いきいき暮らせるまち

医療

■こども医療に関する窓口負担をゼロにしてほしいと思います。後で戻ってはきますが、2~3 か月かかってしまいます。耳鼻科等週3、4回通うとその時の負担が大きくなります。大阪市等は窓口負担がゼロであると聞いています。その方が、手間がかからなくていいのではないかと思います。(二階堂・40代男性)

▶平成31年8月診療分より、未就学児に係る福祉医療制度において現物給付化を予定しています。これまでは、医療機関等の窓口で医療保険の自己負担額を一旦支払った後、自動償還方式により戻ってくる仕組みでしたが、8月診療分からは、1医療機関ごとに通院・入院の月額一部負担金のみ窓口で支払うだけとなる予定です。

■国民健康保険料が高くなりすぎです。(福住・30代男性)

▶国民健康保険制度は相互の助け合いによって成り立っております。平成30年度から奈良県が市町村とともに国民健康保険の運営を担い、県が財政運営の責任主体となって安定的な財政運営や効率的な事業の確保について中心的な役割を担うことになりました。被保険者の負担の公平化を図るため、「同じ所得、同じ世帯構成であれば県内のどこに住んでも保険料水準が同じ」となる県内保険料水準の統一化を段階的に進めていく必要があり、県から示された保険料率に近い料率により、世帯の国民健康保険加入者の被保険者数や前年所得により賦課させていただいています。

子育て

■幼稚園でも預かり保育がはじまることを知って少し安心しました。幼稚園に通っていても仕事ができることはとても大きなことです。300円の預かり保育代はなるべく上げないでほしいです。(前栽・30代女性)

▶幼稚園では子育て支援の一貫として、保護者の就労支援を目的に、預かり保育の拡充を進めています。預かり保育料については、現行維持に努めていきたいと考えています。

■学童保育を充実し、働く親の負担軽減をお願いします。(前栽・30代男性)

▶学童保育は児童に対して適切な遊び及び生活の場を与え健全育成を図ることを目的としております。ここ数年は利用者の増加に伴い施設を毎年増設しております。今後も充実した学童保育

を提供できるように努めてまいります。

■土日でも子どもが遊ぶことができる室内の場所が出来るとうれしい。(丹波市・20代女性)

▶月1回ではありますが、はぐ～る内のすこやかホールを親子で遊べる「土曜子育てサロン」として開催しています。JR 天理駅高架下、南団体待合所には絵本や知育玩具、子供用机のあるキッズスペースがありますので、ぜひ遊びに来てください。

■保育所の給食について、市販おやつを頻繁に提供するなど、他市の保育所と比較して内容が良くないと思います。(前栽・30代男性)

▶市販菓子については課題にしており、使用頻度等検討していきます。現在、市販菓子を使用する場合は、味の強すぎないもの、添加物の少ないもの等を選び、果物、するめ、小魚、乳製品等と組み合わせて食べ過ぎを防止し、栄養価が偏らないように配慮しております。また、市販菓子は「適量を守って楽しむ」ということも、食育の一環として、子ども達に伝えていきたいと考えています。

■待機児童の早期解消を望みます。保育所への入所が決まらないのに、「仕事している」・「仕事をし
てない」で入所判定の点数が決まるのはおかしいと思います。(前栽・30代)

▶平成31年4月1日より小規模事業所を2ヶ所設置し、待機児童の解消を図っています。ポイント制については、仕事をされている方や内定が決まっているの方が、仕事をされていない方よりもポイントが高く、保育の必要性が高い方ほど入所しやすい制度となっております。

■産後4カ月くらいまでの母親が一番悩みを抱え育児ノイローゼになりやすい時期であると思うので、4
カ月検診までに、生後1カ月～3カ月においても保健師又は助産師による相談健診の機会を設けて
いただきたいと思います。もちろん、各自が自由に相談には行けるのだとは思いますが、行く勇
気がなかったり、寝不足だったりするので定期検診として実施していただけると、行きやすいし相
談しやすいと思います。(樺本・30代男性)

▶定期検診としての実施はしていませんが、今後、産後4か月までに、保健師、助産師、
ドゥーラが訪問し、育児相談ができる体制を整えていきたいと考えています。なお、産後4
か月までの母親とその赤ちゃんのサロン「ママにこ」を、はぐ～る、樺本公民館、前栽公民館
で定期的実施しています。育児の情報交換等ができ、お友達もできますので、お気軽にお立
ち寄りください。

福祉・社会保障

■孤独死をなくすため、民生児童委員の方を活用するなどして、高齢者、独居者について訪問制度を
充実してほしいと思います。(井戸堂・60代女性)

▶各地区の民生児童委員の活動として、定期的に高齢者、独居者、寝たきりの方への訪問を行っ
ております。また、市内全域をカバーする4か所の地域包括支援センターによる高齢者、独
居者の訪問を行っております。低所得高齢者を中心に乳酸菌飲料や食事の宅配といった福祉
サービスを利用されるときに見守りを行うことや、JA ならけん、大阪ガスや食材宅配を行う
民間企業等と協定を結び高齢者見守り活動の充実を図っています。

■放課後デイサービスの日数をもう少し増やしてほしい。(二階堂・30代女性)

▶放課後等デイサービスは、法に基づき学校に就学している障害児に、授業の終了後または休業日に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等に供与することとされており、障害のある学齢期の子どもの健全な育成を図ることを目的とした支援です。本市では、障害のある児童へのより効果的で質の高いサービスの提供と、支給日数の適正化のため、平成30年6月1日に「天理市障害児通所給付費等の支給に関する要綱」を制定し、児童の障害の程度に応じた日数を基本に支給しています。また、特に配慮が必要な児童には「特例措置検討会議」を開催し、それぞれの状況に応じた対応をしています。

3) にぎわいと活力のあるまち

農林業

■農作物が直売できる場所を増やしてほしいです。(井戸堂・30代男性)

▶市内においてもJAならけん主体による天理ほのぼの市開催やAコープファーマーズ樺本東店での販売、柳本マルシェのような地域主体による定期直売市も行われております。また、天理駅前広場にてコフフンマルシェを毎月第2・4日曜日に開催し、販売の機会を設けておりますのでご活用いただければ幸いです。さらに、県・市連携のもとで進めております平成33年度開設予定のなら歴史芸術文化村内に直売所施設も検討されているなか、市内で生産された農産物を販売できるように要望していきたいと考えております。

■若い世代が農業に興味や関心を持つことができるような機会を設定していただきたいと思います。そして、どうしたら農業が始められるのか、どういう支援があるか等を広く発信してほしいと思います。(朝和・50代女性)

▶公立保育所における柿食育の取組、丹波市小学校における新たな田植え・稲刈り体験の支援や樺本小学校における地域農産物マコモタケの給食利用など、園児・児童に対して農にふれる機会を増やすとともに、天理駅前広場での農業青年組織・天理市4Hクラブらによる新米祭りなどの開催により生産者と触れ合う機会も実施しております。また、農業を始めるための支援等については、なら食と農の魅力創造国際大学校の生徒募集や奈良県関連ホームページの紹介を広報誌等にて発信するよう努めてまいります。

■耕作が難しくなった農地の活用に向けて個人ができること、協力してできることを具体的にご教示ください。(福住・50代女性)

▶農地をお持ちの方は、地域の農業者、農業生産法人、公益財団法人なら・担い手サポートセンターへの貸し出しの検討、また可能でしたら地元農家組合で、農事組合法人（営農組合）等の設立に向けての協議をお願いします。農地をお持ちでない方は、天理市農業委員会事務局にご相談ください。

商工業・まちの活性化

■天理市で働ける場が増えると人口増につながります。企業誘致促進に期待します。(山の辺・50代男性)

▶天理市企業立地支援条例により、県内各市と比較して充実した優遇制度を設けております。天

理市での企業進出が魅力的であると考えていただけるよう、誘致を推進してまいります。

■本通り活性化してほしいです。(前栽・40代女性)

▶天理駅前で創出されたにぎわいを商店街に誘導するため、「ミュージックストリート」「アートストリート」といった誘客イベントを開催するなど市商工会はじめ、商工連盟、商店街の方々と連携して取組を進めています。また、空き店舗を活用して「天理市産業振興館」や「Art-Space TARN」を設置しました。

■南部地域にはスーパーマーケットがなく、高齢になるにつれて住みよい町とは言えない状況になってきました。柳本駅の改装が計画されていますが、小型のコンビニエンスストアや小規模な集会ができる会議室の設置などを希望いたします。(柳本・60代女性)

▶平成29年11月より週2日、奈良コープ様の移動販売車を朝和・柳本校区にて運行しています。集会ができる会議室に関しては改修する柳本駅舎内に休憩機能を持たせたスペースも設置予定ですので会議にもご利用いただけます。

観光・イベント

■天理は観光資源という面では他に勝るとも劣らない魅力がありますが、それが世間にうまく発信されていないと思います。(柳本・60代男性)

▶市を訪れる方に魅力をPRできるよう、観光資源や文化遺産を活かした様々なイベント等を開催し、周知に努めております。また、観光に関する情報につきましては、市ホームページや市観光情報サイト「ナビ天理.jp」、市Facebook「e〜やん天理」、ブランディングWEBサイト「めぐみめぐるてんり」等のインターネットやSNSを用いた広報をさせていただいております。

■西乗鞍古墳を整備してほしい。(朝和・50代男性)

▶西乗鞍古墳が国指定史跡西山古墳に追加指定され、新たに「史跡杣之内古墳群 西山古墳 西乗鞍古墳」と名称変更されたことに伴い、西乗鞍古墳の公有化を実施しました。今後、史跡としてふさわしい環境となるよう、より多くの皆様にご利用いただくための整備を進めていきます。

4) 環境を大切にしていこう

ごみ・リサイクル

■ゴミの分別をしていますが、プラスチック等リサイクルできているのでしょうか。テレビで分別してもリサイクルされなく処分されることが多いと言われていましたが、天理市ではどれくらいの割合なのでしょうか。リサイクルできないものがあるとすれば、それはなぜでしょうか。(丹波市・60代)

▶天理市では、リサイクル業者に引き渡しリサイクルを実施しております。汚れが付着しているものについては、リサイクルできませんので、リサイクル業者から返却され、天理市にて焼却処分しております。返却される割合ですが例年概ね10%程度となっております。

■白河池の付近にゴミの焼却炉ができますが、環境被害等がないようにお願いします。（櫟本・70代以上）

▶山辺・県北西部広域環境衛生組合の事業として平成28年度より環境影響評価を実施しております。また、新ごみ処理施設整備検討委員会で排ガスについては法令等基準値より厳しい「自主基準値」を設定するなど環境により良い配慮に努めてまいります。

環境・公害・美化

■ホテルが市役所の近くをとぶなど、河川の環境整備には力を入れていらっしゃると思いますが、所により、ゴミの不法投棄やペットボトルの散乱などが見られ、悲しくなります。これからの活動、行政としての対応を期待しております。（二階堂・60代女性）

▶市民への啓蒙も含め、ボランティア団体等の協力を得て、市内のゴミ清掃等を実施しています。不法投棄についても奈良県と連携し、適正に対処していきます。

■天理駅のJR・近鉄間高架通路に放置自転車が多数あり、通行、美化の妨げになっています。（前栽・70代以上）

▶天理市自転車等の放置防止等に関する条例により、天理駅周辺を放置禁止区域に指定し、同区域内に放置された自転車等の移動・保管を行っています。また、放置防止を促す立て看板の設置や本市広報紙による注意喚起等を併せて実施しております。今後もこうした対策を引き続き推進してまいります。

公園・憩いの場

■公園などの子供の遊び場所が天理市は少なすぎると思います。もっと大きくて遊具のそろっている公園がほしいです（二階堂・40代女性）

▶市内には20ヶ所の都市公園があります。新しい都市公園の整備計画はございませんが、公園施設長寿命化計画に基づき、既存の公園の遊具等の更新・修繕を行い、安心・安全な公園施設整備に努めています。

■コフフンはよい施設だと思いますのでもっともっと有効活用すべきです。ロボット公園なんかももっとあのロボット滑り台が若者が集まるようなものにしたらきっと名所になりますよ。（櫟本・10代女性）

▶コフフンをご利用いただき誠にありがとうございます。今後も多くのイベントを市、市民、団体で行い活用していきたいと考えております。ロボット公園につきましては平成30年12月に市民の皆さまに配色の案を募集し、平成31年3月に塗り替えを行う予定をしております。

河川環境整備

■寺川の洪水対策に非常に不満です。大雨、台風のたびに浸水する地区なのでその場しのぎの処置ではなく抜本的な対策を施していただきたいと思います。（二階堂・60代男性）

▶下流河川の逆流により排水路が溢れている状況の中で、今後、大和川工事事務所（国）や奈良県とも連携・協議し、河川の改修等を考えながら水害の軽減を図っていききたいと思います。

5) 安全で快適なまち

防災

■避難解除などの場合はアラームを鳴らさず通知だけで欲しい。真夜中に何度もなった場合何度も起きてしまいます。(二階堂・30代女性)

▶緊急速報メール(エリアメール)は、緊急性の高い情報をお知らせするため、通知とアラームとを切り離れた送信はできない仕様となっています。しかしながら、今後、避難勧告等の解除のお知らせについては真夜中の送信を避けるなど、運用方法の面での検討を行ってまいります。

■災害が多くなっているのも非常に気になっています。エリアメールなどももう少し早めに送ってほしいと思います。豪雨時夜中だったので全く周りも見えず、思っていたより怖いと初めて感じました。みなさん大丈夫と思いたいからそれほど防災に関心がないかもしれないけれど、もう少し詳しく教えてもらって意識改革した方が良い気がします。(山の辺・30代女性)

▶発災後の避難は危険が伴うため、本市といたしましても早期避難を踏まえた自主避難所の開設や避難情報の発出に努めており、今後も取組を続けてまいります。また、防災意識の普及については、広報紙や地域における防災研修会を通じて啓発してまいります。

■防災・防犯と地域コミュニティについて、どのように取り組んでいけばよいのか、お考えを知りたいです。(前栽・60代男性)

▶自助・共助・公助の連携した取組が地域防災力と防犯力の向上の礎であると考えています。地域における研修や講演、訓練を通じてこれらをお伝えし、安全・安心な地域コミュニティの構築に努めてまいりたいと考えています。

交通安全

■横断歩道の白線等道路標示の明示についてももう少し市として関与していただきたいと思います。(丹波市・70代以上女性)

▶本市に寄せられる横断歩道の設置・補修等の要望については、所轄警察署に漏れなく伝えて情報共有を図り、必要な措置について検討することとしています。今後もこうした取組を引き続き行ってまいります。

防犯

■元々は田んぼや畑であったところに新たに住宅が建てられ、夜間の街灯が少なく危険です。(井戸堂・50代男性)

▶夜間の明るさを一層確保し、より犯罪が起きにくい環境づくりに向け、本年度市内全域の蛍光防犯灯のLED化が完了しました。また、来年度からはLED防犯灯の新設事業を開始する予定ですが、本市が策定する要綱に基づき、適切に対応してまいります。

■防犯にしっかり取り組んでほしいと思います。(前栽・60代男性)

▶本市では、防犯に係る市民の安全意識の高揚を図るため、警察との情報共有を図るとともに、広報紙「町から町へ」に犯罪の発生状況やその対策を掲載し、「eメール〜天理」においても防犯対策についてメール登録者に配信しております。また、小学校の下校時間には自主防犯ボ

ランティア団体等と連携して青色防犯パトロールを行うなど、防犯意識の高揚や見守り活動の推進に努めているところであり、今後も継続して実施してまいります。

上下水道

■水道代が高いです。(丹波市・30代女性)

▶各市町村の水道事業は、独立採算制を原則としており、主にお客様からの料金収入によって事業を運営しています。市町村によって、地域ごとに水源の種類や水質、人口、事業規模、地理的条件などが違うため、水道水の製造及び給水に要する費用や施設の維持管理に要する費用（原価）が異なり、水道料金に地域差が生じることになります。人口減少等により料金収入も減少し、厳しい財政状況が続いておりますが、市民の皆様が大切に水道水をご使用いただいていることを認識し、今後も、水源の有効活用やコスト削減等に加えて計画的な施設更新を実施することで、現行の料金を少しでも維持しつつ、安全で安定した水の供給に努めてまいりますのでご理解とご協力をお願いします。

公共交通機関等

■公共交通網がほとんどなく、他人の車に頼るしかないが高齢で運転も危なっかしい。家族も別居となれば外出もできない。(柳本・70代以上男性)

■これから先年とって免許返納した場合、日常の足となる物がなくなるので、いちょう号の本数を増やすとともにバス停をたくさん設定していただきたいと思います。(前栽・60代男性)

▶市では、鉄道駅や民営のバス停から概ね半径700m以上離れている公共交通空白地帯を中心に、デマンドタクシー等を運行させていただいております。コミュニティバスに関しては、現在西部線と苅原線各1台ずつで運行していますが、市南部については、道幅の問題や民間事業者との競合の問題、予算上の問題等から、停留所の増設は難しい状況です。また柳本・朝和校区については、ならコープと移動販売に関する協定を締結し、水・金曜に移動販売車が運行しています。ご利用ください。

■電車で大和西大寺や大和八木へ行くに際して接続が非常に悪いです。電車の本数増やすか、連絡のない平端行をやめてほしいと思います。子供が大阪勤務や大阪、京都の大学に通うようになったら通勤・通学に片道2時間近くかかります。毎日のことだからもっと接続を良くしてほしいです。(二階堂・40代女性)

■櫛本に住んでいます。とにかく電車の本数が少ないです。1時間に3本に増やしてほしいです。大和郡山から引越してきましたが、交通の不便さにはびっくりしています。(櫛本・60代女性)

▶全国的な人口減少により、公共交通の利用が減少している中、鉄道会社やバス会社は、路線を廃止するのではなく、利用者の少ない便を減らすなど、現在運行している路線をいかに維持していくかという課題を抱えており、増便等は望めない状況です。

■前栽駅にエレベーターの設置を要請いたします。近鉄線で設置されていないのは当駅のみではないでしょうか。住宅化、高齢化に伴い、緊急を要します。タクシーを要請して天理駅まで行く人が多くなっています。(前栽・70代以上男性)

▶近畿日本鉄道株式会社により、国、県、市の交付金を活用して、前栽駅にエレベーターを設置することが決定されました。大規模な工事となりますので、工事期間が長くなることが想定されますが、ご理解・ご協力をお願いします。

■柳本駅の階段がつらいです。(朝和・50代女性)

▶平成31年4月完成に向けて柳本駅を改修中です。改修工事により、駅西側に新たに改札口を設けることで跨線橋を利用せずに駅を利用できるようになります。

■地下駐輪場も管理者がいなくなり、自転車を下に入れる際非常に怖いです。(前裁・60代男性)

▶天理駅前地下自転車等駐車場では、指定管理者が常駐しており、高齢者等の自転車等の乗降の際には必要に応じてお手伝いをさせていただきます。

道路整備・バリアフリー

■R24の中町交差点東へ進むと行き止まりになっています。天理方面へ行くのが大変不便です。道を早くつなげて下さい。他の道が整備される度に不満を感じます。10年以上行き止まりのまま進んでいません。(二階堂・40代女性)

▶都市計画道路北大路線については、平成31年度の早期に小路南池付近から市道32号線へ通行できるよう工事を進めているところです。

■田部町の交差点を北に行ってすぐの道路に置いてあるガードレール何とかならないのですか。私有地が出っ張っているからかもしれませんが、その部分は歩道もなく歩行者も危険ですし、ガードレールがあるため車の対向も困難な場合があります。「関係者以外通行禁止」の看板があっても最近は通り抜けの車が多くあのガードレールが本当に迷惑です。(山の辺・30代女性)

▶区画道路の整備に向けて、地元住民にご協力いただいておりますが、当該箇所は未整備区間であり、通行の安全面については注意喚起の看板等で対応しております。歩行者や通行車両など往来が多い道路での安全確保に向け、整備を進める必要があると考えています。

■九条バイパスの実現を熱望します。(柳本・60代女性)

▶九条バイパスは、平成28年12月9日付で奈良県により都市計画決定され今後速やかに事業化する見込みです。事業の実現については本市においても県と連携を図っているところであり、周辺都市を結ぶ幹線道路としての役割を高めつつ、機能の維持・充実を促進していきます。

■嘉幡町の交差点が大雨の時浸水し、あぶないです。(朝和・30代女性)

▶国道24号、25号の交差点で道路が冠水することが度々あります。非常に危険な状況であり、現在奈良県奈良土木事務所で弧池を活用した治水対策を進めており、天理市では二階堂小学校運動場を活用した治水対策を進めております。

6) みんなでつくる開かれたまち

情報提供・広報

■賃貸住宅の方で、町から町が届かないと言っている方がおられました。全戸に届くものじゃないのですか。子育て中の方は特にほしい情報があるんじゃないかと思います。(前裁・50代女性)

▶自治会を通じて広報紙の配布をお願いしています。お住まいされている近くの自治会の方に一度お尋ねください。また、自治会未加入の方は、賃貸住宅などのグループごと代表者の方に配布をお願いしています。広報紙は、市役所や市立公民館など市の施設や市内郵便局にも配置しており、市のホームページや無料アプリ「マチイロ」や「マイ広報紙」にも掲載しております

ので、ご利用いただけたらと思います。

行財政運営

■RPAを導入し積極的に業務の効率化を図るべきです。効率化によって確保した人員を人手でしかできない分野へ再配置すべきだと思います。(樺本・40代男性)

▶RPAの導入については、国・先進地の動向を把握しながら、メリット・デメリットを勘案したうえで、導入の可否を検討していきたいと考えています。

市議会議員

■市議会の皆さまはもっと活躍していることがわかりやすくしてほしいです。(二階堂・70代以上)

▶年4回発行しております議会だより「まほろば」に、各定例会の要旨や、議会活動について掲載しております。紙面の都合上、すべてを掲載することはできませんが、毎号、よりわかりやすい紙面となるよう編集しております。また、本会議、各常任委員会及び議会運営委員会はどこでも傍聴することができます。本会議はインターネットで中継もしており、現在はスマートフォンからもご覧いただけます。さらに、「議員の調査研究その他の活動に資するため」という目的で交付されております「政務活動費」については、収支報告書を公開しております。今後とも、公正性や透明性、信頼性を重視し、より開かれた議会を目指して努力してまいります。

7) その他

まちづくり全般

■私たちの生まれた世代は第2次ベビーブームですが、地元に残っているのは4人程度です。壮年期の人々が生まれた町に帰る、帰りたいと思えるような政策はないでしょうか。(樺本・50代男性)

▶人口減少が進むなかで、生まれ育った町に戻って来ていただくことは非常に重要だと考えております。同居・近居の支援や移住希望者に空き家の情報を提供できるように、「空き家バンク」の創設、または都市圏での説明会などに出展し、本市の魅力のPRを実施しているところです。

■少子化対策について天理市ではどう取り組んでいるのですか。(朝和・50代女性)

▶安心して結婚・出産できる環境に改善する事により、出生数の増加を目指しています、子育て支援の拠点として、天理市子育て世代すこやか支援センター「はぐ〜る」を開設しました。ここでは、妊娠から出産まで切れ目のない支援を実施しています。子育てコンシェルジュが妊娠届出時に妊婦全員と面談を実施し、妊娠中から電話等を含めた継続的な支援や認定資格を持ったドゥーラが、サロンや訪問活動を実施し、産前産後の不安の軽減を行い、産後には助産院でのショートステイを実施して、産後の心身の母体回復を行っています。そして、子育て中の女性の不安解消、負担軽減、就業の促進には、男性の積極的な育児参加が不可欠であることから、「イクメン」の育成にも取り組んでいます。また、一般不妊不育治療助成事業において、平成29年度から助成対象を拡大し、二人目以上の生児を望む一般不妊治療や不育治療の費用も助

成対象としています。

- 組織や機能が一極集中しないように、中央にあれば便利でしょうが地域に分散してほしいです。人の流れが中央へばかりではさびしいです。(櫛本・70代以上)

▶これからのまちづくりについては、「天理市立地適正化計画」に基づき、天理駅周辺だけでなく市内の各地域生活拠点を中心としたコンパクトで持続可能な集約型の都市形成を目指していきます。

アンケート

- アンケートはいつ市政にいかしてもらえるのでしょうか。このアンケートにかかる費用を無駄にしないでください。(前栽・40代)

▶市政アンケートは広く市民の皆さまのニーズの傾向を把握するため大変重要なものであり、本アンケートの結果は全庁的に共有し、市が実施している各施策の評価や今後のまちづくりの方向性検討の基礎資料等として活用させていただきます。

その他

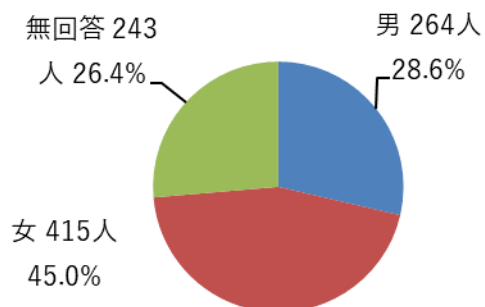
- 市民税高くないですか。(丹波市・50代男性)

▶本市の市民税は、地方税法に定められている標準税率を採用しており、他市と比較しても高い状況ではありません。今後も適正な課税に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

卷末資料

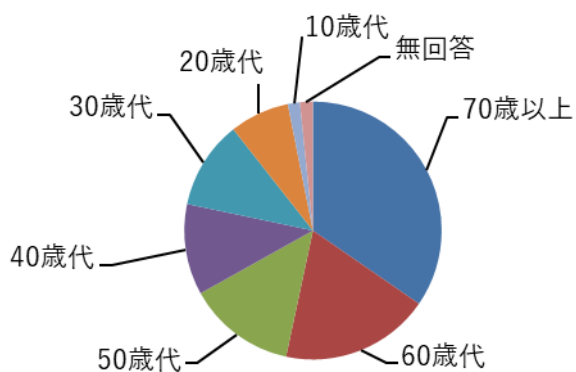
1. 回答者の属性

(1) 性別



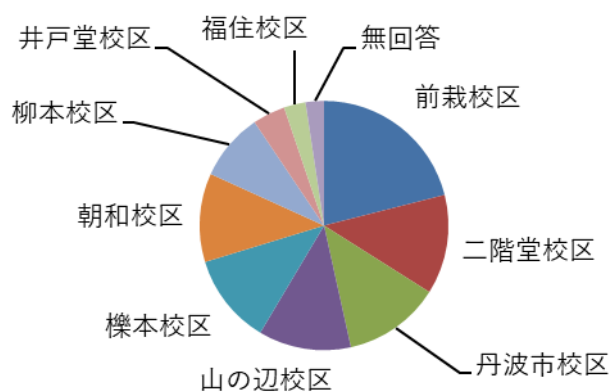
(2) 年齢

年代	人数	構成比
10歳代	14	1.5%
20歳代	69	7.5%
30歳代	102	11.1%
40歳代	105	11.4%
50歳代	125	13.6%
60歳代	173	18.8%
70歳以上	319	34.6%
無回答	15	1.6%
合計	922人	100.0%



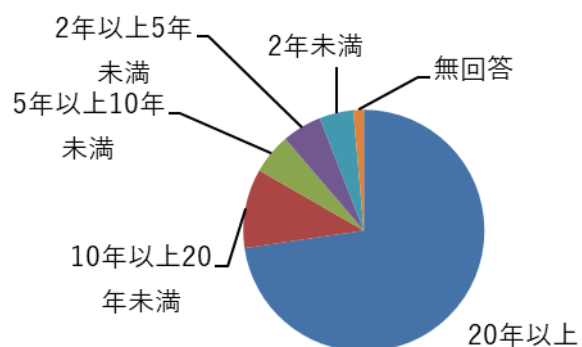
(3) 居住地域

校区名	人数	構成比
前栽校区	194	21.0%
二階堂校区	119	12.9%
丹波市校区	116	12.6%
山の辺校区	111	12.0%
櫛本校区	108	11.7%
朝和校区	106	11.5%
柳本校区	81	8.8%
井戸堂校区	39	4.2%
福住校区	26	2.8%
無回答	22	2.4%
合計	922人	100.0%



(4) 居住年数

居住年数	人数	構成比
20年以上	670人	72.7%
10年以上20年未満	98人	10.6%
5年以上10年未満	50人	5.4%
2年以上5年未満	49人	5.3%
2年未満	42人	4.6%
無回答	13人	1.4%
合計	922人	100.0%



<参考>各グループごとの回答率

小学校区	対象人数	回答者数	回答率
丹波市校区	424	116	27.4%
山の辺校区	413	111	26.9%
前栽校区	742	194	26.1%
井戸堂校区	131	39	29.8%
二階堂校区	323	119	36.8%
櫟本校区	315	108	34.3%
柳本校区	222	81	36.5%
朝和校区	370	106	28.6%
福住校区	60	26	43.3%
無回答		22	

年代	対象人数	回答者数	回答率
10歳代	121	14	11.6%
20歳代	455	69	15.2%
30歳代	433	102	23.6%
40歳代	460	105	22.8%
50歳代	392	125	31.9%
60歳代	410	173	42.2%
70歳以上	729	319	43.8%
無回答		15	

2. アンケート調査票

天理市政アンケート

◇◇あなたの声をお聴かせください◇◇

日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
天理市では、第5次総合計画に基づいて「つながり、にぎわい・未来を創造するまち」を目指してまちづくりに取り組んでいます。まちづくりを進めていくうえで、みなさまの市政に対するご意見、ご要望などをお聞きし、総合計画の進捗管理、施策の評価や改善など、今後の方向性を決める基礎資料として活用するために、毎年「市政アンケート調査」を行っています。
この調査票は、18歳以上の市民の方から無作為に選ばせていただいた3,000人の方にお送りしています。個人が特定されることや他の用途に使用されることは一切ありませんので、率直にお答えください。調査結果は、広報紙「町から町へ」や市のホームページ、図書館などを通じて平成31年3月頃に報告いたします。
お忙しいところお手数ですが、今後の市政運営のための大切な調査ですので、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成30年9月

天理市長 並河 健

1. 封筒のあて名の方本人がお答えください。ご記入できない場合は、ご家族や身近な方がご記入ください。
2. それぞれの質問について、あてはまる番号に○をつけてください。
3. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに期限までに郵便ポストにご投函ください。住所・氏名は記入不要です。

【提出期限】平成30年9月18日(火)

【問い合わせ】
市長公室 総合政策課行政経営係
電話：0743-63-1001(代表) FAX：0743-62-5016
E-mail：gyouseikei@city.tenri.nara.jp

問1 天理市の住みやすさについてどう思いますか？

- 1 住みやすい 2 まあ住みやすい 3 どちらともいえない
4 やや住みにくい 5 住みにくい

問2 市が進めてきた次の取り組みについて、日頃どのように感じていますか。
また、今後、積極的・重点的に取り組むべき重要な施策だと思いますか。「満足度」「今後の重要度」から、それぞれ1つ選んでください。

	満 足 度					今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない
(記入例) 就学前の幼児教育の充実	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
教 育 ・ 文 化										
1 就学前の幼児教育の充実	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
2 小中学校の義務教育の充実	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
3 障害をもつ子どもの特別支援教育体制の充実	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
4 青少年の健やかな育成	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
5 人権の尊重・人権の教育	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
6 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
7 教室や講座など多様な学習機会の充実	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
8 スポーツに親しむ機会や施設の充実	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
9 学校や地域での環境教育の推進	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
10 芸術文化に親しむ催しや活動	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
11 歴史的な文化遺産の保存と活用	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
健 康 ・ 福 祉										
12 各種健診や相談などの健康づくり	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
13 休日応急診療など地域医療体制の充実	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

1

	満 足 度					今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない
14 高齢者の生活および自立の支援	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
15 介護予防・介護保険サービスの充実	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
16 障害者への支援体制の充実	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
17 家庭における子育ての支援	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
18 保育サービスの充実	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
19 ボランティア活動・地域活動の支援	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
20 社会保険制度の充実	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
産 業 ・ 観 光 交 流										
21 企業誘致の促進や工業の振興	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
22 商店街の活性化など商業の振興	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
23 農業・林業の振興	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
24 魅力ある観光の振興	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
25 国際交流活動の支援	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
環 境										
26 ごみの処理、減量・再資源化の対策	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
27 公害などの環境汚染の防止対策	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
28 地球温暖化対策など環境の保全	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
29 公園・緑地など憩いの場の整備	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
30 河川改修と河川環境の保全	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
都 市 基 盤										
31 耐震化の促進など防災体制の強化	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
32 消防・救急体制の充実	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
33 通学路の点検など交通安全対策	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
34 地域安全パトロールなどの防犯対策	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

2

	満 足 度					今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない
35 消費トラブルへの適切な対応体制	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
36 適正な土地の利用の推進	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
37 市街地の整備	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
38 まちのバリアフリー化の推進	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
39 天理らしい景観と歴史的風土の保存	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
40 良好な住環境の整備	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
41 上水道の整備	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
42 下水道の整備	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
43 道路の整備	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
市民参画・行財政										
44 積極的な情報発信と情報公開	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
45 市民の市政参加など協働のまちづくり	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
46 ネットワークを活用した行政サービスの充実	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
47 地域活動・ボランティア活動の支援	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
48 財政の健全化・行財政改革の推進	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
49 職員の人材育成と組織改革	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

3

問3 天理市の環境について、どのように思いますか。「満足度」「今後の重要度」から、それぞれ1つ選んでください。

	満 足 度					今後の重要度				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない
(記入例) まちなみ・景観のきれいさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
1 山林・緑の多さ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
2 生き物の種類の多さ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
3 地域での文化的な行事	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
4 空気のきれいさ (大気汚染や悪臭)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
5 池・川の水のきれいさ (水の汚れ)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
6 まちの美化 (ポイ捨てごみ)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
7 まちの静かさ (騒音・振動)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
8 ごみの処理・リサイクル活動	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
9 公園や街路樹の緑	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
10 市街地の花と緑	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
11 まちなみ・景観のきれいさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
12 まちの雰囲気・活気	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
13 公共交通機関の利便性	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
14 省エネ・省CO ₂ の進展 (公共施設・商業施設などの状況)	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
15 自然とのふれあいの場	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
16 周囲の省エネ・省CO ₂ に対する意識	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

4

問4 天理市において、次のことについてどのように思いますか？

	そう思う	まあそう思う	どちらかといえない	どちらともいえない	あまり思わない	そう思わない
1 若者(青年)の教育や就労についての相談体制が充実している	1	2	3	4	5	
2 安心して医療を受けることができる	1	2	3	4	5	
3 高齢になったときも安心して生活できる	1	2	3	4	5	
4 公共交通機関が利用しやすい	1	2	3	4	5	
5 広報紙「町から町へ」が役に立つ	1	2	3	4	5	
6 情報発信・公開が積極的に行われている	1	2	3	4	5	
7 広く市政に参加できる機会が保障されている	1	2	3	4	5	
8 行政の経営が効率化されている	1	2	3	4	5	
9 窓口における職員の対応に満足している	1	2	3	4	5	
10 安心して子どもを産み育てられる	1	2	3	4	5	

次の項目について、お答えください。

問5 現在、長期的な病気や障害を抱えていますか。

1. はい 2. いいえ

問6 日ごろから防災対策を行っていますか。

1. はい 2. いいえ

問7 災害時の緊急避難場所を知っていますか。

1. はい 2. いいえ

問8 この1年間に、何らかのボランティア活動に参加しましたか。

1. はい 2. いいえ

5

問9

『天理駅前広場コフン』についてお聞きます

(1) 『天理駅前広場コフン』を知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

(2) 『天理駅前広場コフン』を訪れたことがありますか。(通行のみは除く)

1. ある 2. ない

→「ある」と答えた方は(3)～(6)、(8)にお答えください。

「ない」と答えた方は(7)、(8)にお答えください。

(3) 何回訪れたことがありますか。

1. 1回 2. 2回 3. 3～5回 4. 6～9回 5. 10回以上

(4) 何の目的で訪れましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. イベント 2. 子どもを遊ばせる 3. 待ち合わせ 4. 談話 5. 勉強
6. 打ち合わせ 7. 飲食 8. お土産購入 9. 自転車購入
10. その他 ()

(5) 良かった点は何か。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特にない 2. 広場の開放感 3. 遊具の多様さや安全性 4. イベントの多様さ
5. スタッフの接客態度 6. 施設のデザイン性 7. バリアフリー
8. 地元野菜の料理の発信 9. 地元土産やものづくりの発信 10. 地域観光の発信
11. その他 ()

(6) 不満だった点は何か。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特にない 2. 広場の開放感 3. 遊具の多様さや安全性 4. イベントの多様さ
5. スタッフの接客態度 6. 施設のデザイン性 7. バリアフリー
8. 地元野菜の料理の発信 9. 地元土産やものづくりの発信 10. 地域観光の発信
11. その他 ()

(7) 『天理駅前広場コフン』を訪れたことがない理由を教えてください。

1. 広場に行く目的がない 2. 行ってみたくはない
3. どんな施設か知らない 4. 何が行われているか知らない
5. 興味がない

6

→「広場に行く目的がない」と答えた方にお聞きます。広場でどんなことが行われていれば、または何があれば、訪れたいと思いますか。

(8) 『天理駅前広場コフン』に今後求めることを教えてください。

問10～11 略

問 12 最後にあなた自身のことについてお答えください。

(1) 性 別	1. 男	2. 女
(2) 年 齢 (平成 30 年 8 月 1 日現在)	1. 10 歳代 4. 40 歳代 7. 70 歳以上	2. 20 歳代 5. 50 歳代 3. 30 歳代 6. 60 歳代
(3) お住まいの校区 ※わからない場合は町名	1. 丹波市 5. 二階堂 9. 福住	2. 山の辺 6. 樫本 ※ (町)
(4) 天理市にお住まいになっ て何年になりますか。	1. 2 年未満 2. 2 年以上 5 年未満 3. 5 年以上 10 年未満	4. 10 年以上 20 年未満 5. 20 年以上

10

自由
意見

市政やまちづくりなどに関してご意見・要望がありましたら、自由にご記入ください。
※ お寄せいただいたご意見については、担当部課で充分検討いたします。
代表的なご意見については、ホームページなどを通じて報告します。

意見の内容：【 】 ※以下 29 項目よりお選びください。

①教育 ②生涯学習/文化/スポーツ ③人権 ④医療 ⑤子育て ⑥福祉/社会保障 ⑦農林業
⑧農工業/まちの活性化 ⑨観光イベント ⑩ごみリサイクル ⑪環境/公害/美化 ⑫公園/憩いの場
⑬河川/環境整備 ⑭防災 ⑮救急 ⑯交通安全 ⑰防犯 ⑱まちづくり計画/景観 ⑲上下水道
⑳公共交通機関等 ㉑道路整備/バリアフリー ㉒情報提供/広報 ㉓ボランティア ㉔行財政運営
㉕市職員/市民サービス ㉖市議会 ㉗まちづくり全般 ㉘当アンケート内容 ㉙その他

ご協力ありがとうございました。

11